

学会ニュース

目次

・ 学会費納入のお願い 1
・ SMOOSY導入のご案内 1
・ 第46回大会について 3
・ 大会における託児所・ベビーシッターの利用について 3
・ 『学会ニュース』第101号掲載記事の差し替えとお詫び（王寺 賢太） 4
・ 『学会ニュース』第97号掲載記事に関するお詫び〔正規版掲載〕（幹事会） 4
・ 事務局より 5

学会費納入のお願い

日本18世紀学会の会計年度は、4月1日から翌年の3月31日です。SMOOSY導入以降、マイページを通じて多くの会員の皆様に年会費をお支払いいただきましたが、まだSMOOSYにアクセスしておられない会員も多数おられます。学会の活動は皆様の年会費によって支えられています。過年度分の年会費の支払いのお済みでない会員には、SMOOSY上でマイページにアクセスの上、お支払いいただけるようお願いいたします。未払いの過年度分年会費がある会員には、追って学会からも請求を差し上げます。また、2024年度分の会費納入につきましては、6月中旬にメールにてご連絡いたしますので、お早めのご対応をお願いいたします。SMOOSYと年会費納入方法について、以下あらためてご案内します。

SMOOSY導入のご案内

当学会では、学会運営を簡素化・効率化し、学会を長期的に維持するため、2023年度から、株式会社アトラスが提供する会員管理システムSMOOSYを導入しました。それにともない、日本18世紀学会の公式サイトも <https://jsecs.smoosy.atlas.jp/ja> に移転しました。

SMOOSY導入に伴い、会員の皆様には各自「会員マイページ」が割り当てられ、各自の操作によって、以下の一連の操作が可能になりました。

- ・ 会員登録情報の閲覧、変更
- ・ 会費納付状況の照会
- ・ 会費のオンライン決済手続き（銀行バンクチェック決済）
- ・ 会費の請求書、領収書PDFのダウンロード
- ・ 学会からのお知らせ閲覧

また、学会からの連絡や会費納入の督促もSMOOSYを通じて一括して行うこととなります。以下では、①会員マイページにログインし、登録情報を更新する方法、および②オンライン上で年会費の支払いを行う方法をご説明します。

① 【会員マイページ ログイン方法】

- (1) 会員マイページの [初めてログインする方はこちら] をクリックし、会員情報として登録しているメールアドレス (※) を入力して [送信] ボタンをクリックします。
- (2) 「パスワード設定URLのお知らせ」メールが届くので、メール文内のパスワード設定URLをクリックします。
- (3) パスワードを入力し [登録] ボタンをクリックします。
- (4) [会員マイページ] ボタンをクリックして会員マイページを表示します。
- (5) 画面一番下の [会員情報を変更する] ボタンをクリックし、ご自身の情報を確認・更新してください。

※登録されているメールアドレスは、当学会から会員の皆様にお送りしているメールの受信アドレスとなります。メールが届いていない方は事務局 (jsecs18@gmail.com) までご連絡ください。

また、操作方法が不明な場合は会員マイページ画面右上の [ヘルプ] をご参照ください。さらに、一部の項目については、会員による変更ができません。会員種別、氏名、生年月日、入会日 (不明者は1800年に設定) 等です。これらについて変更を希望される方は、事務局までお知らせください。なお、賛助会員の方はマイページがご使用になれません。内容のご照会は引き続き事務局までお願いいたします。

② 【年会費の支払い方法】

- (1) まず会員マイページにログインしてください (①参照)。
- (2) 画面上で「請求名称・入金状況」を確認してください。「未入金」と表示される年度の会費の納入をお願いします。
- (3) SMOOSYでの決済は、SMOOSYを運営する株式会社アトラスを通じて、株式会社ROBOT PAYMENT (ロボットペイメント) の決済代行サービス (バンクチェック) を利用しています (※)。
- (4) [請求/入金情報] 欄の画面右側 [操作] 枠の [支払う] をクリックし、
- (5) 明細を確認の上、 [お支払いに進む] をクリックしてください。
- (6) 受付画面 (ROBOT PAYMENTシステム) で電話番号と振込人名義を入力します (SMOOSY上で電話番号が登録されている場合は、あらかじめ表示された電話番号のままです)。振込人名義欄にはSMOOSYに登録されている氏名のカナ表記が表示されていますが、お持ちの口座の名義と異なる場合は口座の名義と一致するよう変更してください。一致しないとROBOT PAYMENTシステム上で入金を確認できません。
- (7) 「入力確認」画面で入力事項を確認の上、 [次に進む] をクリックし、「決済申し込み完了」画面で [決済申し込み] をクリックします。
- (8) ここで、いったん会員マイページに戻ります。[請求/入金情報] 欄の右側に、あらたに [振込先口座情報] のボタンが現れるので、クリックしてください。
- (9) 振込先口座番号の情報が現れます。以下はその一例です。各会員の振込毎に、「りそな銀行アース支店」の「ロボットペイメントシュウノウダイコウ」名義の個別の振込先口座番号が指定される設定となっています。この口座番号は一請求につき一つずつ割り当てられるもので、同一会員であっても年度ごとに異なります。複数年度の会費が未納の方は、お手数ですがそれぞれの請求に対応した口座に入金してください。

例)

0010.りそな銀行	936.アース支店	普通.76****3.か)ロボットペイメント シュウノウダイコウ
------------	-----------	----------------------------------

- (10) 受付メールが届きます。振込先口座番号はメールにも記載されています。
- (11) 指定された振込先口座番号への入金、従来のゆうちょ銀行口座への入金方法とまったく同じ

です。会員各自がオンライン決済なり、銀行での振込なりによって実行してください。

(12) ROBOT PAYMENTで入金の確認され次第、SMOOSYからメールで銀行振込の確認のメールが届きます（数時間、ないし土日を含む場合は数日かかる場合があります）。なお、学会事務局にはROBOT PAYMENTから入金確認後、その都度通知が入ります。

(13) 同時に、SMOOSYの会員マイページ上で「請求/入金情報」欄の該当年度の右端に「領収書を発行する」のボタンが現れます。

(14) 請求書を発行する場合は、「請求/入金情報」欄の画面右側「操作」枠の「請求書を発行する」からダウンロードしてください。

(15) 領収書を発行する場合は、お支払い後、「請求/入金情報」欄の「入金済を含む全ての請求を表示する」をクリックし、「請求一覧」画面右側「操作」枠の「領収書を発行する」からダウンロードしてください。

※年会費の支払いは、事務局の負担の軽減のため、できるだけROBOT PAYMENTを介した入金をお願いします（一請求一口座の効果で、誰がどの年度の会費を払ったかが自動的に記録されます）。従来通り、学会のゆうちょ銀行口座への直接振込を希望される方は、学会事務局まで申し出てください。

学会運営の効率化と維持のため、以上、①登録情報の確認と②年会費の納入につき、会員各位のお力添えをお願いいたします。

以上、ご不明な点があれば、日本18世紀学会事務局までお問い合わせください。

第46回大会について

第46回大会は、2024年6月22日（土）・23日（日）、大阪大学人文学研究科（豊中キャンパス）で開催します。今回は、久々の全面対面式での開催ということもあり、例年をはるかに超える12名もの会員から自由論題発表の応募をいただきました。積極的な御参加に心から感謝します。

また、22日午後には、学会企画として「甦る『ある精神の軌跡』——水田洋と社会思想史の道」と題して昨年物故された水田洋先生の追悼シンポジウムを開催します。コーディネーターは大塚雄太幹事が務め、安藤隆穂、梅田百合香、坂本達哉、植村邦彦各氏が登壇されます。

同日には、開催校の吉田耕太郎会員の企画により、大阪大学人文学研究科との共催で、「近世箏曲における東西接触のミッシングリンク——近現代日本の音楽研究者たちの夢」と題して、鈴木聖子氏講演、片岡リサ氏（箏）、橋本桂子氏（十七絃）、および大阪大学合唱団TEMPEST（合唱）演奏による、当学会恒例のレクチャーコンサートが予定されています。終了後には、事前申し込み制で懇親会も開催されます。

なお、23日午後に予定されている共通論題は、「フランス革命から問い直す18世紀」と題して、永見瑞木幹事をコーディネーターとし、松浦義弘、楠田悠貴、梅垣千尋、上田和彦、熊谷英人各氏から御発表をいただきます。

コロナ禍の長い中断のあと、こうしてきわめて充実した大会を対面形式で開催できることを大変うれしく思っています。どうか多数の会員の御参加をいただきますよう、よろしくをお願いいたします。

詳細については、学会HPの「次回の大会」のページ（https://jsecs.smoosy.atlas.jp/ja/next_conference）から全国大会プログラム・レジュメ集をダウンロードしてください。

大会における託児所・ベビーシッターの利用について

当学会では、子育て中の会員も大会に参加しやすいように、託児サービスの補助を行います。会場

校に託児スペースを用意することはできませんが、会員が個人で手配して託児所・保育所・ベビーシッター等を利用される場合に、学会が保育費の半額を負担いたします。学会からの補助を希望される方は、事前に学会事務局に御連絡の上、学会終了後に領収書を事務局までお送りください。後日、学会負担分をお振込みいたします。

『学会ニュース』第101号掲載記事の差し替えとお詫び

日本18世紀学会代表幹事 王寺 賢太

先の『学会ニュース』第101号掲載の日本18世紀学会幹事会からの「『学会ニュース』第97号掲載記事に関するお詫び」については、掲載記事に当学会幹事会と『生と死』の訳者諸氏（飯野和夫〔当学会会員〕・沢崎壮宏・小松美彦・金子章予各氏）のあいだで合意を見た文章にはなかった文言が混入していました。該当部分は、第4段落の「…当該記事で用いられた「補完」という文言は、訳者側の提案を受けて用いられたものでしたが、」という一節です。

この一節は、代表幹事が事務局に提示した「お詫び」草案に記されていたものでしたが、その後幹事会に附議される前に代表幹事自身で該当部分を削除し、幹事会と訳者諸氏にはこの削除した案をお示しし、協議による修正を経て双方の合意を得ました。しかし、この文案についての協議と並行して進められた『学会ニュース』編集作業で、当該文言が削除される前の草案が予稿として転記されていたため、『学会ニュース』第101号には、幹事会にも訳者諸氏にも提示されることになかったこの一節が混入する結果になったものです。

以下に本来掲載されるべきであった記事全文を再掲いたします。また、学会HP上で公開予定の『学会ニュース』第101号抜粋版では、あらかじめ当該記事を以下の文書に差し替えた上で公開いたします。

今回の事態を招いたのは、ひとえに幹事会と事務局の連携を司る代表幹事の責任です。この点、『生と死』訳者諸氏に対しては、慎重な事前の合意形成に反する結果となったことを心からお詫びいたします。

また、今後同様の事態を防ぐため、『学会ニュース』掲載記事については各文責者が決定稿を確認するよう編集の慣行を改めることをお約束します。

『学会ニュース』第97号掲載記事に関するお詫び〔正規版掲載〕

日本18世紀学会幹事会

当『学会ニュース』第97号（2022年1月発行）では、「事務局より」の項に、『日本18世紀学会年報』第36号（2021年6月発行）掲載の寺田元一会員による『十八世紀叢書第7巻 生と死—生命という宇宙』書評について、訳者側（飯野和夫〔当学会会員〕・沢崎壮宏・小松美彦・金子章予・川島慶子〔当学会会員〕の五名）からの申し入れを受け、「『年報』第37号に書評を補完する訳者による文書を掲載する」旨、予告する記事が掲載されました。

しかし当該記事は、「補完」という文言が寺田会員とその書評の学問的信頼性を損ないかねないものであった点で、また、この予告掲載自体が『年報』誌上での訳者側からの反論の掲載によって対処すべき学術的議論の原則から逸脱する点で、不適切なものでした。『学会ニュース』で『年報』における書評への応答の掲載を予告するといった措置は、本来なら幹事会の審議を経て決定されるべき例外的措置であったにもかかわらず、2021年12月の幹事会では、この措置が審議されることはありませんでした。しかもこの例外的措置は、訳者側の申し入れに基づきながら、寺田会員への事前通知なし

に取られた点で、公平性を欠いていました。以上の点につき、日本18世紀学会幹事会は寺田会員に陳謝します。

また、『生と死』諸氏に対しても、一旦は当時の代表幹事とのあいだで合意された措置を、幹事会が正規の手続きを取らなかったことを理由として、事後的に不適切であったと判断することにより、結果的に代表幹事との合意を一方的に撤回するに至った点について、幹事会の責任を認め、陳謝します。

なお、『学会ニュース』第97号の当該記事中の「補完」という文言について、訳者側はこの文言が寺田会員とその書評の学問的信頼性を損ないかねないものであったとは考えていないという見解を寄せていることを申し添えます。

以上のお詫びは、2023年6月18日の第45回大会総会でその概要が報告された「寺田元一会員の要望書および抗議を承けての学会の自己検証最終報告書」に基づいてなされています。詳細は、学会HP上で会員向けに公開されている当該総会の議事録を御参照ください。その付属文書として、「最終報告書」概要、寺田会員の「私見」、『生と死』訳者側の「意見書」、および総会で配布された特別資料付録（『年報』第36号掲載の寺田書評、『学会ニュース』第97号における訳者側からの「補完」予告、『年報』第37号掲載の訳者側による〈書評への応答〉）もあわせて公開されています。



事務局より

『学会ニュース』のオンライン化について

『学会ニュース』は、次号からオンライン形式での発行に完全移行します。会員の皆様へのお届け方法としては、メールを通じて事務局のGoogle Driveのリンクから各自でダウンロードしていただく形を予定しています。なお、学会ウェブサイト上にはこれまでと同様、個人情報削除した抜粋版を掲載いたします。今後はメールを介した送付となりますので、メールアドレスの登録がお済みでない方がいらっしゃいましたら、事務局までご一報ください。

会員名簿の公開について

2016年度以降しばらく発行が停止していましたが、会員同士の研究交流の活発化を図るため、2024年度から会員名簿の定期的な提供を再開しました。会員名簿の閲覧方法につきましては、2024年4月24日に当学会からお送りしたメールをご確認ください。名簿に掲載する個人情報は最小限にとどめ、①氏名、②所属先、③メールアドレス（公開・非公開は選択可）、④現在の研究課題のみとしています。今後は毎年5月に会員名簿の更新を行う予定です。ご所属等のご変更があった場合は、マイページから速やかな情報の更新をお願いいたします。

『年報』への論文投稿について

大会での発表をもとにしたもの以外の論文も投稿できます。詳しくは年報または学会ウェブサイト記載の投稿規定をご覧ください。

共通論題のテーマ、および書評対象図書

会員の皆様からの提案を随時受け付けています。事務局または担当幹事までご一報ください。（ただし、共通論題のテーマ決定に際しては開催校の希望が優先されるので、必ずしもすぐにご提案が実現するとは限りませんが、事務局から開催校や幹事会に伝達します。）

当学会は学際的な学会であるため、会員の研究が広範囲に及び、担当幹事だけでは各分野の重要文献の情報を集めるのが困難です。書評で取り上げるべきと思われる図書がある場合、事務局までお知らせください。（特にご自分の専門分野が当学会で十分に扱われていないと思われる方は、積極的にご推薦ください。）

『学会ニュース』のエッセー・投書について

エッセーは現在、事務局から執筆をお願いしていますが、会員の皆様からの希望も受け付けています。その他の投書も含め、執筆を希望される方は事務局までお知らせください。

寄付のお願い

寄付をご希望の方は事務局までご一報ください。こちらから振込方法についてお知らせいたします。

献本

学会宛に以下の図書をいただきました。お礼申し上げます。

- ・ イヴ＝マリー・アンドレ神父『美についての試論』、馬場朗訳・解説（法政大学出版局、2023年12月）
- ・ 大崎さやの・森佳子編著／辻昌宏・大河内文恵・森本頼子・吉江秀和著『バロック・オペラとギリシア古典』（論創社、2024年3月）
- ・ 後藤正英『不寛容と格闘する啓蒙哲学者の軌跡—モーゼス・メンデルスゾーンの思想と現代性—』（晃洋書房、2024年3月）

新入会員の方へ

毎年6月の幹事会で入会を承認された方はその年度からの会員となります。6月の幹事会以降に入会を申し込まれた方は12月の幹事会で承認され次年度からの会員扱いになりますので、会費の請求はありませんが、他の会員同様に諸種の配布物をお届けいたします。

新会員の勧誘のお願い

ぜひ18世紀研究に関心のある方を本会にご勧誘ください。SMOOSY導入にあたり、学会ウェブサイトの「入会案内」から入会申請が可能となりました。

幹事会メンバー（50音順）：飯田賢穂（事務局）、出羽尚（年報編集）、岩佐愛（年報編集）、王寺賢太（代表幹事）、大石和欣（大会）、大塚雄太（大会／年報編集）、隠岐さや香（大会／国際学会副事務局長）、金沢文緒（事務局）、川村文重（事務局）、小関武史（事務局）、後藤正英（年報編集副委員長）、斉藤渉（事務局長）、菅原百合絵（広報）、武田将明（年報編集委員長）、玉田敦子（国際学会派遣委員）、永見瑞木（年報編集）

会計監査：井関麻帆、奥香織

日本18世紀学会ニュース 第102号 2024年5月発行

発行者 日本18世紀学会 代表者 王寺賢太

事務局 〒153-8902 東京都目黒区駒場3-8-1

東京大学大学院総合文化研究科 斉藤渉研究室 日本18世紀学会事務局

e-mail: jsecs18@gmail.com

<https://jsecs.smoosy.atlas.jp/ja>